

ご意見・ご質問（抜粋）

参考2

No	協議事項	質問・意見	回答
1	第2期宮崎市地方創生総合戦略の改定案について	<p>● デジタル田園都市国家構想総合戦略について</p> <p>デジタル田園都市国家構想総合戦略は、デジタルの力を使って東京一極集中を是正していくということだが、こういった国の方針をもとに各自治体が計画を立てていく際、各自治体の連携や地方間の連携も必要になるのではないのでしょうか。各自治体が、デジタル田園都市国家構想総合戦略を念頭に立てた計画が、実際に東京一極集中をどのように是正していくのか、筋道を教えていただきたいです。</p>	<p>【宮崎市】</p> <p>地方版総合戦略は、人口減少に歯止めをかけるために、地域産業の競争力を高めて、若い世代が暮らしやすい環境を整備するための計画であり、総合計画の中の地方創生の部分を取り出す形で、宮崎市、国富町及び綾町でそれぞれ策定しています。</p> <p>今回、デジタル田園都市国家構想総合戦略の考え方が入ってきて、もともとあった地方創生、地域の課題を解決しながら地域活性化を図るところに、デジタルの力を活用していくとなった経緯があるため、それぞれの自治体で、デジタルの力の活用の部分を取り入れながら、総合戦略の改訂を進めていくこととなります。</p> <p>各自治体の連携については、みやざき都市圏ビジョンは1市2町で策定している広域の計画であるため、基本的にはこの広域連携推進協議会の会議体で、連携した取組を委員の皆さんにご紹介をして、ご意見をいただきながら進めていくといった形になります。</p>
2	第2期国富町まち・ひと・しごと創生総合戦略の改定案について	<p>● デマンド型乗り合いタクシーについて</p> <p>デマンド型乗り合いタクシーを導入されるということで、コミュニティバスから転換されていますが、実際にうまくいっているのでしょうか。コミュニティバスは運行を維持するのが大変だという中で転換をされたのだと思いますが、利用者サイドから見てどのような声が寄せられているのか、そのあたりを聞かせてもらいたいです。</p>	<p>【国富町】</p> <p>これまで、通常の生活路線バスの赤字部分に対して、行政の方で赤字補填をするという形で支援を続けておりましたが、その解消のためにコミュニティバスを走らせていたところですが、ただ、無料であってもなかなか利用促進に繋がらない状況であったため、実際に利用する方への支援を直接的にできるデマンド型乗り合いタクシーという事業に転換しました。</p> <p>利用料金については、1回当たり自宅から目的地までは1人で乗った場合は400円、乗り合いになった場合は200円で、できるだけ乗り合い率を高める形で、行政の負担も減らしながら必要な方に対応しており、特に買い物での支援、それから通院等への対応、公共施設等への手続き等、そういったところにもご活用いただいているところです。</p> <p>今のところ、試験運用開始から約1年半程経ちますが、350人程度の登録数となっており、登録者の方のうち、33%ぐらいの方が、実際に利用するという推移になっております。</p> <p>通常のタクシーとは違って、1時間毎の定期運行と目的地も決まっているということもありませんので、通常のタクシーと比較すると、利用者の方に不便があるのかもしれませんが、買い物や病院への支援としてはかなり喜ばれております。</p> <p>また、10月からの本格運行については、宮崎-綾線の宮崎交通のバスへの結節というところも想定して、目的地の数をかなり増やしましたので、利便性も高まっている状況ではないかと思っております。</p>
3	第2期国富町まち・ひと・しごと創生総合戦略の改定案について	<p>● 商店街のキャッシュレス化について</p> <p>商店街の活性化のことで、ポイントカードはなかなか厳しいということですが、今はネットで買ってもポイントがつくことが当たり前の時代になっています。もともとが購買を国富町から流出させないために、加盟店が地元でポイントカードを作って顧客をしっかり固めるということだと思いましたが、その議論はどのような感じでしょうか。また、今は加盟店が増えているのでしょうか。</p>	<p>【国富町】</p> <p>町の商工会を中心として、キャッシュレス化や地域通貨の検討を2年ほどしていただいているところです。その中で、行政も一緒に取組をさせていただいております。</p> <p>ただ、その後の機器導入等のランニングコスト、商店街の店主さんの高齢化、後継者不足、そういったところの課題も山積しているものですから、全体的に一気に導入ができるという状況を作るには、もう少し時間等もかかるのかなと思っておりますので、その辺りを整理して検討をさらに進めていくような状況になっております。また、加盟店は年々減っています。</p>

ご意見・ご質問（抜粋）

参考2

No	協議事項	質問・意見	回答
4	第2期国富町まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂案について	<p>● 商店街のキャッシュレス化について</p> <p>キャッシュレス化については、お店の中からもデジタル化してないと対応できないという話になりますが、それを地元の商店街の経営者の方が、年齢的にも本当にやっていけるのかという点があります。</p> <p>それと、キャッシュレス化は、現金化するのに手数料がかかるという点もあります。実際、現金だったらそのまま入ってくるのですが、クレジットカードだとキャッシュレスになるのですが、手数料でお店が3%~4%の手出しが出て、原価あるいはコストが上がるということです。</p> <p>それを地元の小さい店でやっていけるのかなという話で、そこあたりの議論はなされているのでしょうか。</p>	<p>【国富町商工会】</p> <p>ポイントカードは縮小しておりますので、商店街のメンバーと行政を交えて、ここ2年間勉強会をしております。</p> <p>1月からは、町がポイント還元を1か月お試しでやっておりますが、それで売り上げが伸びたところと、逆に売り上げが落ちたところとあり、まだ実績は出ていませんが、実際の駐車場の入り状況とかで分かります。</p> <p>このような状況を見て、今からこういう時代だからと、だんだんポイント還元やキャッシュレスに向かっていく雰囲気が出てきています。来月上旬にも、またメンバーを集めて、実証実験のための業者を選んで進めようとしています。</p>
5	第2期国富町まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂案について	<p>● 地域通貨について</p> <p>どのようなイメージで考えられているのかお聞きしたいなと思います。</p>	<p>【国富町】</p> <p>域内での流通というところで、今、町の方ではプレミアム商品券を商工会さんと一緒にやっています。これを今、紙ベースでやっておりますので、こういったものが外貨も稼げて地域内を循環できて、新たな仕事とかビジネスチャンスに繋がる、そういったことを目指したいところではありません。</p> <p>ただ、現実的なところでは、高齢化の問題や、後継者不足、維持費や経費のところではなかなか簡単ではないなと思っております。</p> <p>国富町では1月に、3つの携帯キャリアを使ったキャッシュレスポイントの還元事業をやったところですが、やはりこれは町内の方ももちろん喜ばれていますが、町外の方も購入することができるということで、事業者にとってはプラスで、町内でも稼げて町外からも稼げると、この辺を解決できるような形の一つとして、地域通貨がもしかしたら有効なのではないかなと商工会と一緒に研究しているような状況です。</p>
6	第2期国富町まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂案について	<p>● 企業立地について</p> <p>スマートインターチェンジができた効果は、その前と後では随分違うのでしょうか。</p> <p>また、実際に企業側とコンタクトをとってらっしゃると思うんですけども、感触はいかがでしょうか。</p>	<p>【国富町】</p> <p>スマートインターチェンジが開通してから、大変大きな期待が寄せられているのですが、近くの県道沿いを開発しようにも軟弱地盤であり、また、農地であるためいろいろ法の規制もかかっておりますことから、行き詰っているような状況であります。やはり必要なのは工業団地の造成等で、企業立地を進めていきたいと考えております。</p> <p>また、ここ12年間、企業誘致を果たせていなかったのですが、今年度、大阪の総合レンタル会社で海外に支店を持つような大きな会社に来ていただいたところです。残念ながら製造業ではないものですから、雇用の場の確保ということには繋がってはいない状況です。</p> <p>インターチェンジができてから、実際企業からの問い合わせが来ておりますが、先ほど申し上げたような事情で、やはり企業さんの方もスピード感を求められていますので、なかなか誘致ができていないような状況であります。</p>

ご意見・ご質問（抜粋）

参考2

No	協議事項	質問・意見	回答
7	第2期国富町まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂案について	<p>● ソーラーシェアリングについて</p> <p>再生可能エネルギーのソーラーシェアリングという観点が入っていません。農地の上に太陽光を受けて、下に作物作るという方法ですが、そういうものがこの総合戦略の中に、入ってきてもいいのではないかなと思っています。どのように取り組まれ、方向性を考えているのでしょうか。</p>	<p>【宮崎市】</p> <p>まだ来年度事業の検討段階の中ですが、今度、環境の基本計画策定の予算があるため、それに向けて動き出しをしております。その中で、どのような施策が効果的なのか議論されていくことになり、ソーラーシェアリングを含めて今後検討が進められていくため、まだそのワード自体は表には出てきていない状況でございます。</p> <p>【国富町】</p> <p>国富町もまだ単体の事業や横の繋がりの中で、そういう再生可能エネルギーの分野をどう連携していくかというところが整理できてない状況ですので、今後検討していく課題になっている状況です。</p> <p>【綾町】</p> <p>綾町の方でも、そういった業者や専門の方が見えて、いろんな活用方法というのを紹介していただいているのですが、農家さんにとって農業を進めていくのか、そういったシェアリングを進めていくのかということも、行政的な課題も含めて、まだ検討が進んでないような状況でございます。</p>
8	第2期国富町まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂案について	<p>● （ご意見）商品券について</p> <p>日向市商工会の男気商品券というものがございまして、1万円の商品券を1万2,000円で買って、営業活動として使うことで、地域活性化にも役立っています。</p> <p>今、コロナがだんだん落ち着いて外食も営業も増えているので、会社の経費を使って、逆にまちおこしということをしたらどうかと思いました。</p>	<p>（ご意見のみ）</p>
9	第2期綾町まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂案について	<p>● 有機農産物と学校給食について</p> <p>綾町の説明で、学校給食に有機農産物を取り入れるとありましたが、宮崎市と国富町にも有機農産物の取り組み等について、どう思われているのかお聞きしたいです。</p>	<p>【宮崎市】</p> <p>有機農産物を含めまして、給食で地元産の素材を使っていただくことは課題であり、取り組みをしているところですが、そもそも宮崎市は有機農業されている方自体が少ないというのがまず一つあります。その方々は、ほとんど独自の販売ルートを持っていることから、給食食材に有機農産物をぜひ使って欲しいという声がない状況です。</p> <p>ただ、有機農産物を含めて地元産を使っていたく働きかけは毎年行っており、最近だと季節的に果物、きんかんや文旦が出てる時期ですので、そういったものを生産者が実際学校に届けに行きまして、給食に出して食べていただいて、子供たちとコミュニケーションを取っていただくというような活動はしているところでございます。</p> <p>【国富町】</p> <p>国富町の方では、現状としては有機に絞る方向にはおそらく難しいのではないかなと思います。どうしても生産者さんの考えもありますので、そういったご意見をいただいたことについては、私どもの農林振興課を通じて、生産者さん、団体、部会等に情報提供して、広域的に組めるものがあれば検討できればと思っております。</p>

ご意見・ご質問（抜粋）

参考2

No	協議事項	質問・意見	回答
10	第2期総合戦略まちの改訂案について	<p>● 移住者について</p> <p>綾町について、移住者の増減を見たときに、以前は非常に移住者が多いということでしたが、最近は移住者がなかなか入ってこないというような課題もあるのではと思います。その辺のように認識をされて、対策を考えていらっしゃいますか。</p>	<p>【綾町】</p> <p>これまでは、転入が転出より多いので、社会増として増えている状況もありました。綾町としては、移住交付金で、例えば世帯が移住してきたら、一律100万円とか、単身60万という国が主導してやっていた交付金も活用していましたが、お金が出るから移住してくれとアピールするのではなく、町の取組とかと施策の方針とかに共感して、綾が好きだっという方に住んでいただきたいという思いがあったものですから、そのお金を定住のための支援策としてシフト替えています。</p> <p>例えば、高校のない綾町にとっては、通学費が一番の負担になる世帯もありましたので、バスの定期券補助を始めたり、子育て世代の方の家を建築するための支援金を創設したり、移住よりも定住施策の方に予算的にはシフトしたというところではあります。</p> <p>食に魅力を感じて、綾に移住を希望するという方もいらっしゃるものですから、そういった情報を発信して、綾町を分かってもらって、移住をしていただくということをこれからも進めていきたいと思っています。</p>
11	第2期みやざき共創都市圏ビジョンの改訂案について	<p>● 新たに設定したKPIについて</p> <p>主要施策6-3「観光客受入環境の充実」の新たに設定したKPI「ホームページアクセス数」について、事業の内容とずれがあるような気がします。例えばこのKPIを設定しようと思ったら、事業内容はたくさんホームページに来てもらうために広告を出す等になるかと思いますが、事業内容を見ると、受入環境整備であるため、設定されるKPIとしてずれがあるように思いますがいかがでしょうか。</p>	<p>【宮崎市】</p> <p>元々設定されていたKPI「県外観光客のリピーターの割合」は、総合計画及び総合戦略とも紐づいており、総合計画でKPI削除となったため、総合戦略及び都市圏ビジョンでも削除させていただいたところであります。</p> <p>そのため、総合戦略内の同じ主要施策に設定されているKPIから、代替のKPIを都市圏ビジョンに設定する必要がありますが、残っているKPIが、「ホームページアクセス数」と「観光案内所の来場者数」の2つのみであり、「観光案内所の来場者数」につきましては、これから先、コロナの影響等を受けて、評価をすることにふさわしい指標とならない可能性があるため、「ホームページアクセス数」を代替のKPIとして設定させていただいたところであります。</p> <p>事業内容とのマッチングという点ですが、当然ここに載っているものだけではなく、様々な観光施策があり、ホームページにアクセスしたことで、宮崎に行きたいと思って来てくださる方の受け入れ環境の充実を図るなど、いろいろなところで紐づいてくるところでございます。</p> <p>ただ、今後2年間でまた見直しをしていく中で、このあたりはしっかりと精査をしていきたいと思っております。</p>
12	第2期みやざき共創都市圏ビジョンの改訂案について	<p>● SDGsについて</p> <p>SDGsの17の目標を、それぞれの重点項目に当てはめていますが、SDGsで大切なのは、169のターゲットがどれに当てはまるのかということだと思います。17の目標だけでなく、169のターゲットを見ていかないと、施策とSDGsの目標にずれが出ます。今、宮崎市としてこのSDGsに関しての取組というのは、どのような形で推進しているかと思っております。</p>	<p>【宮崎市】</p> <p>まず、169のターゲットを紐づけるのはなかなか至難の技であり、大変苦労しております。</p> <p>実際、宮崎市としてのSDGsに関する取組は、基本的には普及啓発というところで、庁内であれば看板、パネルを市民のよく通る場所に掲げていたり、市民向けであれば出前講座をしたり、あと企画部門以外では「ジェンダー平等」についての動画を作ったり等、多岐にわたっております。</p> <p>このSDGsというのは、2030年まで全世界で取り組むという目標でございますので、今はこの総合戦略と都市圏ビジョンの取組を推進することが、地方創生とSDGsに資するというスタンスではあります。SDGsというところで何が出来るのか、宮崎市として具体的にSDGsを一番上に掲げて何かをしているという部分は実際弱いところがありますので、引き続き検討をさせていただきたいと思っております。</p>